

<研究ノート>

公立保育所におけるクラス名の傾向について

島崎 あかね

本稿は、本学学生が1年次の春期休暇中に行う保育実習Ⅰ(保育所)において記載する実習日誌を元に、保育所のクラス名に見られる傾向を分析したものである。1年次の保育実習Ⅰは公立保育所で行うことを原則としており、学生の自宅周辺で受け入れていただいた園において行っている。平成25年度の保育実習Ⅰ(保育所)は、平成26年1月末から2月にかけて、長野県内81園(上小地域:21園、東信地域:22園、北信地域:28園、南信地域:10園)、新潟県内14園、合計95園の協力を得て実習が行われた。

本稿はこの95園の保育所を対象に分析を行った。なお、各園とも年度により各年齢のクラス数が異なることが予想されることと、実習園に直接アンケート調査を行ったのではなく、学生が実習日誌に記載したクラス編成を抜き出して分析したものであるため、あくまでも平成25年度の傾向として捉えるものとする。

<対象園の構成>

対象とした95園は、そのほとんどが年齢別のクラス編成となっている。実際のクラス編成はその年度の園児数で異なると思われるが、特に未満児クラス(0～2歳)については、年齢別にクラスが構成されている(1歳ごとにクラスが分かれている)場合と0～1歳、0～2歳、0歳と1～2歳といったように複数年齢が一緒にクラスが構成されている場合がある。一方、3歳以上児のクラスは年齢別に「年少」「年中」「年長」に分かれたクラス構成がなされていた(表1)。地域別にみると、0歳から1歳ごとにクラス構成を分けている園は、上小地域と東信地域が1園、北信地域が11園、新潟県内が4園で、南信地域にはみられなかった。0～1歳児を混合、2歳児以上を年齢別のクラスで構成している園は、上小地域で10園、東信地域で8園、北信地域で11園、南信地域で9園、新潟県内で9園であった。0～2歳児を混合、3歳児以上を年齢別のクラスで構成している園は、上小地域で8園、東信地域で13園、北信地域で2園、南信地域で1園、新潟県内にはみられなかった。また、未満児クラスがない園(3歳以上児のみ)は、上小地域が2園、新潟県内が1園、その他のクラス構成(2～3歳児が

混合1園、3～4歳児が混合2園、4～5歳児が混合1園)の園が北信地域に4園みられた。

表1. 地域別のクラス構成

地域 クラス構成	上小地域 (21園)	東信地域 (22園)	北信地域 (28園)	南信地域 (10園)	新潟県 (14園)	合計 (95園)
各年齢別クラス	1	1	11	0	4	17
0～1歳混合 +年齢別	10	8	11	9	9	47
0～2歳混合 +年齢別	8	13	2	1	0	24
3歳児以上のみ	2	0	0	0	1	3
その他	0	0	4	0	0	4

そこで、本稿におけるクラス名の傾向の分析は、「未満児(0～2歳児)クラス」と「年少(3歳児)クラス」「年中(4歳児)クラス」「年長(5歳児)クラス」の4つのカテゴリーに分けることとした。

表2には、それぞれのカテゴリー別の延べクラス数を示した。クラス数は未満児クラスが203クラス、年少クラスが146クラス、年中クラスが129クラス、年長クラスが129クラス、混合クラスが5クラスの合計612クラスであった(表2)。なお、612クラスのうち2クラスはクラス名の記載がなかったため分析から除外した。

表2. 各カテゴリー別のクラス数

地域 カテゴリー	上小地域 (21園)	東信地域 (22園)	北信地域 (28園)	南信地域 (10園)	新潟県 (14園)	合計
未満児クラス	39	43	68	21	32	203
年少クラス	36	34	40	17	19	146
年中クラス	29	32	38	14	16	129
年長クラス	30	30	36	16	17	129
混合クラス	0	0	5	0	0	5

＜クラス名の傾向＞

1. 対象園全体の傾向

対象となった95園全体を見ると、全カテゴリーのクラス名に「花」「動物」「果物」といった統一性を持たせている園は55園、未満児クラスと3歳以上児クラスでそれぞれ統一性を持たせている園が13園、年齢ごとの統一性はあるものの園全体として統一性がみられない園が26園、全クラスのクラス名の記載がなく分類できない園が1園であった。

また同じカテゴリー（年齢）で複数のクラスを持つ園は95園中65園であった。このうち、同カテゴリーのクラス名の名称を変えずに「もも1」「もも2」または「ばらA」「ばらB」というように数列的にクラス数の増加に対応している園が27園、同カテゴリー内で「花の名前」、「動物」といった統一性は持たせるものの別のクラス名で対応している園が37園、その両方で対応している園が1園であった。

なお「もも」というクラス名については、他の学年のクラス名が花の名前で統一されていれば「花」としての桃、他の学年が果物で統一されていれば「果物」としての桃として判断した。

2. カテゴリー別の傾向

①未満児(0～2歳児)クラスの傾向

未満児クラスのクラス名を見ると34種類のクラス名があり、「花・植物」(もも、つぼみ、すみれ、たんぼぼ、など)と「動物・鳥」(ひよこ、うさぎ、りす、あひる、など)が11種類、「果物」(いちご、りんご、さくらんぼ、など)が5種類、その他として絵本のキャラクター(ノンタン、トトロ)や色(しろ)、気象・天体(ゆき、にじ)などが7種類に分類された。未満児クラスでは圧倒的に「ひよこ組」が多く、203クラス中49クラス(24.1%)を占めた。次いで「もも組」が24クラス(11.8%)、「つぼみ組」18クラス(8.8%)、「つくし組」16クラス(7.8%)と続いている。全体の傾向としてはクラス名の種類は多岐にわたっているが、保育者や保護者だけでなく子ども自身にとっても『0～2歳の小さな子ども』をイメージしやすいクラス名が多いように思われる。

②年少(3歳児クラス)の傾向

年少クラス全体では29種類のクラス名があり、「花・植物」(すみれ、もも、たんぼぼ、ちゅうりっぷ、さくら、など)が10種類、「動物・鳥」(りす、うさぎ、ぱんだ、ひばり、

など)が9種類、「果物」(りんご、いちご、など)が7種類、その他として3種類(ほし、きいろ、ピノキオ)が分類された。年少クラス146クラスのうち、上位を占めたのは「りす組」が21クラス(14.4%)、「すみれ組」が16クラス(11.0%)、「もも組」と「たんぼぼ組」が13クラス(8.9%)、「うさぎ組」が12クラス(8.2%)であった。比較的「ちいさい、かわいい」といったイメージのある名前が多くみられた。

③年中(4歳児クラス)の傾向

年中クラス全体では29種類のクラス名があり、「花・植物」(ばら、ゆり、すみれ、たんぼぼ、など)が12種類、「動物・鳥」(うさぎ、ぱんだ、きりん、など)が8種類、「果物」(ぶどう、など)が5種類、その他として4種類(ほし、つき、そら、あか)が分類された。年中クラス129クラスのうち、上位は「ばら組」が16クラス(12.4%)、「うさぎ組」が15クラス(11.6%)、「ゆり組」が14クラス(10.9%)、「ぱんだ組」と「すみれ組」が10クラス(7.8%)であった。「果物」は5種類ではあるものの「ぶどう組」以外は1クラスずつであり、「花・植物」や「動物・鳥」をクラス名にしている園が多くみられた。

④年長(5歳児クラス)の傾向

年長クラス全体では26種類のクラス名に分類され、「花・植物」(さくら、ひまわり、ゆり、など)が11種類、「動物・鳥」(きりん、ぞう、など)が7種類、「果物」は3種類(りんご、ぶどう、めろん)、その他としては5種類(つき、そら、ほし、にじ、みどり)であった。年長クラス129クラスのうち上位は「さくら組」が20クラス(15.5%)、「きりん組」が19クラス(14.7%)、「ひまわり組」が16クラス(12.4%)、「ゆり組」が12クラス(9.3%)、「ぞう組」が10クラス(7.8%)であった。花にしても動物にしても「大木・大きい」というイメージのクラス名をつける園が多いように思われる。

3. まとめ

平成25年度春季保育実習Ⅰ(保育所)の実習における協力園95園のクラス名について、学生が記載した実習日誌から抜き出してその傾向を分析したところ、多くの園でどの年齢クラスにおいても「花・植物」をクラス名に用いていることがわかった。花や植物は子どもにも身近な存在であり、日常生活で目にすることも多いことや色や花の形に特徴、さらには文字数としても2～3文字程度の名前が多いことなどから子どもにも覚えやすいことがクラス名として採用されやすいのではないかと推察される。ク

ラス名は園全体である程度の統一性を持たせている園が多く、「花・植物」「動物」といった種類は少なくとも同じ年齢であれば統一される傾向があった。未満児クラスと3歳以上児クラスでクラス名の傾向が異なる園もあるが、どの園でも未満児クラスは「小さい・かわいい」というクラス名が多かった。さらに年齢が大きくなるにつれて、クラス名である植物や動物が小さいものから大きいもの(例：年長クラスはりす、年中クラスはうさぎ、年長クラスはきりん)へと変化するようなクラス名を用いる園も多くみられた。

今回の分析は、あくまでも学生が実習中に記載する日誌から抜き出したクラス名を分析し推察しているため、分析した結果が園または設置者である市町村によるクラス名の意図を正確に表しているとは言い難い。しかし、各園のクラス名には一定の傾向がみられたことから、今後は私立保育園・幼稚園も含め多くに園に対してクラス名の命名方法を調査し分析を試みたいと思っている。